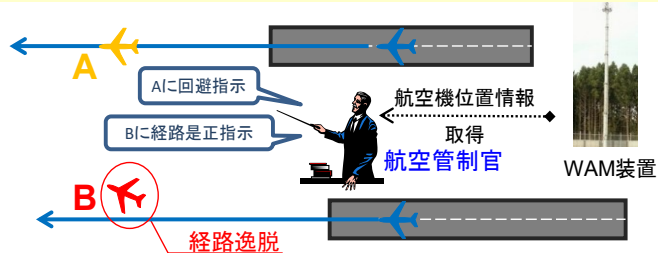


貢献内容：成田空港の時間値を1時間当たり64回から68回に増枠（2014.3～）

研究機関名：電子航法研究所（ENRI）

【実現施策の概要】

○空港近傍を飛行する航空機について、航空管制官に対してWAMによる高精度・高頻度な航空機位置情報の提供を実現

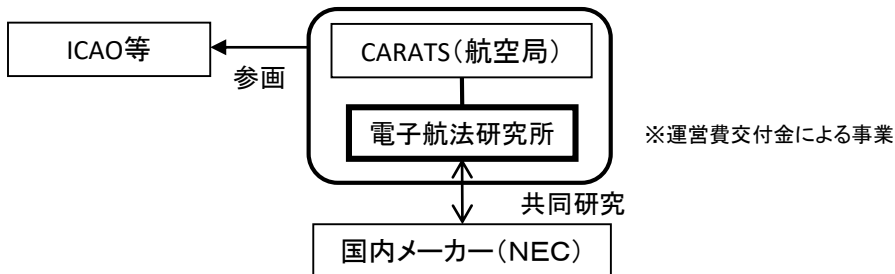


■ 平行滑走路同時離陸時における経路逸脱判定

WAM: Wide Area Multilateration (広域マルチラタレーション)

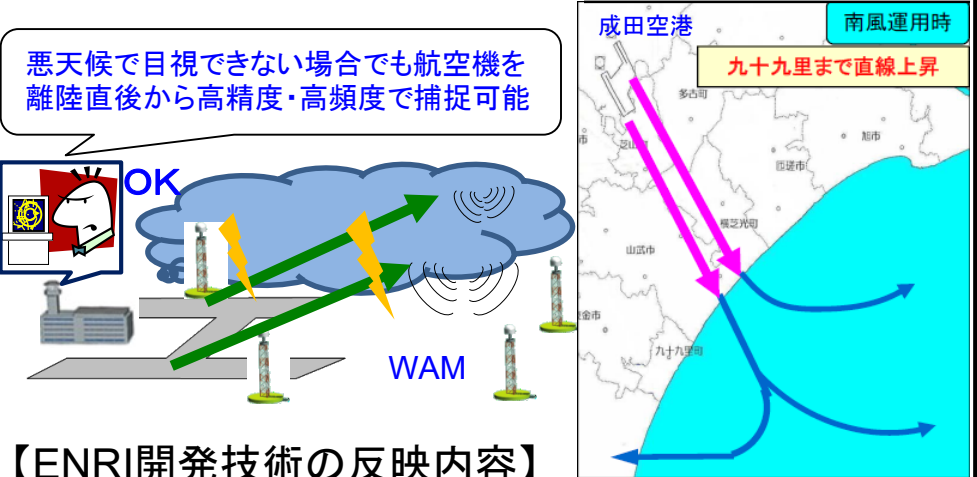
【研究の実施概要】 2009～2012年度

- ・設定課題・目標 高性能WAMの技術確立、実環境性能の検証
- ・研究テーマ名 【空港面監視技術高度化の研究（ENRI:宮崎裕己）】
- ・研究実施体制 下記参照



【成果還元の内容】

- WAM実験システムを構築して、平行滑走路の同時離着陸運用を想定した検証試験を実環境で行い、高精度・高頻度の達成を確認
- 成田空港においてWAM導入による同時離着陸運用を実現して、空港処理容量の増大に寄与[2014.3～航空局にて実運用開始]



【ENRI開発技術の反映内容】

○WAMIによる平行滑走路同時離着陸実施の判断材料を提供するとともに、検証試験の結果が性能仕様値に反映された

【WEB参照先】 電子航法研究所 年報
https://www.enri.go.jp/info/nenpou/nenpou_index.htm

【問合せ先】
 (施策に関する問合せ) CARATS事務局
 国土交通省 航空局 交通管制部 交通管制企画課 03-5253-8111(内線51104・51106)
 (研究に関する問合せ) 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
 電子航法研究所 研究統括監付 0422-41-3432